

国語科学習指導案

広島県立広島高等学校

授業者：菊森 大治

1 日時

令和元年6月17日（月）3限（10：50～11：40）

2 場所

地理歴史・公民教室

3 対象

第1学年6組（男子17名、女子23名、計40名）

4 単元名

国語総合「ビブリオバトルを楽しもう（1）」

5 単元について

（1）単元観

本単元は、高等学校学習指導要領 2 内容 A 話すこと・聞くこと（1）「エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。」を踏まえ設定した。

ビブリオバトルを行うこととし、生徒は他の生徒に、「おすすめ本」として自分の読んだ本を紹介する。自分の紹介する本に対して、他の生徒の興味をいかに喚起するか、効果的な表現をする必要性をもたせる。まずは、本を紹介するプレゼンテーションを作成させ、より効果的なプレゼンテーションとなるよう、プレゼンテーションの内容等について他の生徒へ説明し、他の生徒からアドバイスを受け、改善するという学習活動を行う。また、生徒は改善したプレゼンテーションにより実際にビブリオバトルを行う。他の生徒からの評価を受け、客観的な視点から、効果的な話し方となるよう、工夫するようになると期待できる。ひいては読書に親しむ態度及び読書習慣の育成、さらには読書の幅が広がることも期待できる。

（2）生徒観

本単元が、話すこと・聞くことについて指導する初めての単元である。したがって、高校入学後、話すこと・聞くことについての既習事項はない。

言語活動についてのアンケートを実施したところ、次のような肯定的な回答の割合であった。

- ・「発表などでは、根拠や理由をあわせて話すように意識している」82.5%
- ・「論理的に話すことは得意だ」32.5%
- ・「論理的に話せるようになりたい」97.5%

日ごろから多くの生徒が根拠や理由を意識しながら発表などを行いつつも、上手に行えているという意識はあまりもっておらず、論理的に話せるようになりたいという意欲の高い生徒たちであると言える。

また、一日の読書のクラス平均時間は10.2分、直近の一ヶ月で読んだ本の平均冊数は1.4冊であった。ちなみに、一ヶ月で読んだ本が0冊の生徒が40名中16名であった。

(3) 指導観

ビブリオバトルを行うこととし、効果的な表現を行う必要性をもたせる。本を紹介するプレゼンテーションそのものの発表のみならず、プレゼンテーションでどのような項目について、どのような内容を、どのような相手の反応を予想して話すのか、といったことを交流し、プレゼンテーションの改善を図る。交流し、他者からのアドバイスを受けることで、発表する生徒自身が発表の内容を客観的に捉えられ、また、プレゼンテーションそのものの改善も図ることができる。【資料1】に示す学習プリントを用いて、交流しながら効果的な表現となるように発表の準備を行っていく。その際、伝えたい内容を、書くことによって伝える時と話すことによって伝える時との違いを意識させながら、発表の準備をさせることに留意する。

6 単元目標

- ・表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かすことができる。【話すこと・聞くこと】

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
・表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かそうとしている。	・表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かしている。	・効果的に話すことに必要な文章の組立て、語句の意味・用法について理解している。

8 指導と評価の計画

次	時間	学習内容	評価規準	関	話	理
1	1	・ビブリオバトルについて理解する。 ・プレゼンテーションに向けた構成メモを作成する。	・効果的に話すことに必要な文章の組立て、語句の意味・用法について理解している。			○
2	2	・プレゼンテーションの内容などを説明し、相互評価を通して、改善する。 【本時】	・表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かそうとしている。 ・表現の仕方についての評価を通して、話の構成や展開を改善している。	◎	○	
3	3	・ビブリオバトルを実施する。	・表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かしている。		○	

9 本時の展開

(1) 本時の目標

表現の仕方についての評価を通して得たことを，話の構成や展開を改善することに生かす。

(2) 本時の評価規準

表現の仕方についての評価を通して得たことを，話の構成や展開を改善することに生かそうとしている。【関心・意欲・態度】

表現の仕方についての評価を通して，話の構成や展開を改善している【話すこと・聞くこと】

(3) 準備物

授業プリント，紹介する本

(4) 学習の展開

過程	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
導入 5分	○本時の学習の流れ，目標を確認する。	◇前時までに， 資料 I 4 【ビブリオバトルプレゼンテーション構成メモ】の見出し，時間，内容までをメモさせておく。 ◇本時の学習の流れ，グループについて理解させる。	
	本時の目標：ビブリオバトルのプレゼンテーションを改善する。		
展開 1 30分	○5人グループで，それぞれ3分の説明及び2分の交流を行う。(予備1分) $(3分 + 2分 + 1分) \times 5 = 30分$ 資料 I 4 【ビブリオバトルプレゼンテーション構成メモ】の留意点や【追加情報や質疑応答で答えたい内容】に気付きを記入する。	◇指導者がタイマーでタイムキープする。 ◇プレゼンテーションそのものを行うのではなく説明を行うことに留意させる。 ◆具体的な説明は，内容・構成等について行うことを理解させる。	

展開 2 10 分	○交流結果を踏まえて，ビブリオバトルのプレゼンテーションを改善する。 資料Ⅰ 5 【ビブリオバトルプレゼンテーション構成メモ】 改善版にメモをする。	◇本時交流した結果を，次回実施するビブリオバトルのプレゼンテーションの改善に生かすよう促す。 ◆説明の内容，構成等について改善に生かすよう促す。	【関】 (行 動 観 察，記述) 【話・聞】 (学 習 プ リ ント)
まとめ 5 分	○本時のまとめを記述し，相互に交流する。 資料Ⅱ 本時のまとめを記入する。	◇交流終了後，数名発表させる。	【関】 (行 動 観 察，記述)
	生徒のまとめ例： 本のあらすじや結末などを全て伝えてしまうと，読もうという気持ちはあまりわからないということが分かった。どの部分をあえて伝えず，読みたい気持ちをどれだけ持ってもらうかが，難しかったけど，工夫ができて，楽しかった。次の時間のビブリオバトルを頑張りたい。		



ビブリオバトルに向けて

1 【ビブリオバトルとは】

ビブリオバトルとは、ゲーム感覚で行う知的書評合戦である。バトラーがプレゼンテーションを行い、聴衆にアピールする。「どの本を一番読みたいと思ったか」という観点で投票を行い、一番多く票を集めたバトラーがチャンプ、その本がチャンプ本となる。

2 【ルール】

バトラーは「読んで欲しい本」について、4分間でプレゼンテーションを行い、その後、2分間の質疑応答を行う。全員のプレゼンテーションが終わった時点で、投票を行う。

3 【ビブリオバトルに向けて】

次の項目について整理し、プレゼンテーション構成メモを作成しよう。

紹介する本	
著作者	
本の特徴	プレゼンテーションを構成する時に、どんな工夫をするのかを意識しながら記入する。 例 クイズ形式で問いかける。 本の題名はあえて最後に示す。 など
内容の概要	
感動のポイント	
本との出会い	
この本を読みたい シチュエーション	
その他 ()	

4 【ビブリオバトルプレゼンテーション構成メモ】

見出し	時間	内容	留意点
		プレゼンテーションを行う時の手持ち資料なので、箇条書き程度でよい。	
			効果的に伝わっているかどうか注目する。

【追加情報や質疑応答で答えたい内容】

あえて聴衆に質問をさせて、その質問に答える形でアピールする方法もある。



1年組番氏名()

5【ビブリオバトルプレゼンテーション構成メモ】

改善版

見出し	時間	内容	留意点

【追加情報や質疑応答で答えたい内容】



本時のまとめ

1 年 組 番 氏名 ()

本時を振り返ってみましょう。

当てはまるものに○を付け，空欄には文章を書きましょう。

- 1 プレゼンテーションの内容をうまく説明することができた。

当てはまらない あまり当てはまらない やや当てはまる 当てはまる

- 2 交流することで，プレゼンテーションの改善につなげることができた。

当てはまらない あまり当てはまらない やや当てはまる 当てはまる

- 3 交流することで，他のグループメンバーの改善に役立つよう協力できた。

当てはまらない あまり当てはまらない やや当てはまる 当てはまる

- 4 改善して良くなったと思うのはどのような点ですか。

- 5 本時の感想。

- 6 次回ビブリオバトルへの意気込み。